2021 年２月２５日

Vol. 147

TIFA会報

Tachikawa International Friendship Association

立川国際友好協会発行
発行責任者　木下　究
編集責任者　野口節子

ホームページ　http://tifa-class.net/　　外国人に日本語を教えるボランティア団体

立川国際友好協会　― 2020 年度をふり返って ―

会計監査　　山下　良子

TIFA 木曜教室で 2020 年度監査をさせていただく山下です。TIFA でのボランティア歴は２０年余りになりますが、2020 年度ほど、大きな試練に見舞われたことは今までになかったように思います。２月からの新型コロナウイルス感染症の世界的な広がりに始まり、第一回緊急事態宣言の発令、日本語教室の休講。これからどうなるのか全く分からない状況の中、新役員さん方の相談の結果、人数制限など感染症対策をしたうえで、９月から開講ができ、大変感謝していましたところが、翌年爆発的感染増加、2021 年１月７日の再びの、緊急事態宣言下、教室は休講になりました。感染症に関しては、日本人ももちろんですが、日本に滞在している外国人の方々は、言葉が分からない、文化が違うなど、大変不安であり困ることも多いのではないかと思います。このような状況の中、外国人ルーツの方々に隣人として手を差し伸べるという TIFA の最初の思いを、どうやって実行していかれるのか。担当受講生さんへのオンラインでの声掛け、授業など、工夫できることをしていきたいと思いました。

企画渉外部長　大西　一光

2020 年は色々と変化した年でしたね。日本語教室では３月から休講となり学習館にも行けなくなりました。別の形態の授業方法として、Zoom での授業が話題に上がりました。また、休講後の受講生のアンケートから、受け持っていた受講生は Zoom での授業を実施したいとのことでした。そこで受講生に連絡を取り、１０月から、Zoom による日本語学習を開始しました。教材や実施方法等については、始める前に受講生に「どんな学習がいいですか？」と尋ねたところ、学習したい教材を PDF にて送ってくれました。今はその教材を共有して学習を進めています。また、年末に開催しているイヤーエンドパーティーをどうするか？となり、「継続することも大切」とのことから別の形式で実施することになりました。Zoom を利用して、柴崎学習館のホールとの共有、Zoom での参加者にも楽しんでもらえたらと進めました。初めてのことでトラブルもありましたが、どうにか開催することが出来ました。顔が見えること、少しでもお話ができることで嬉しい気持ちになることを教えてくれたと思います。まだまだ、この状況が続いていますが、健康を大切に、交流してくださいね。

会計部長　森　和子

令和２年という年は、誰にとっても特別な年でした。当たり前にできたことが、できなくなり、様々な不自由を強いられました。そして残念なことに、それは過去形ではなく現在進行形です。そんな中で TIFA の活動も影響を受け、１学期は休講になりましたが、２学期は様々な制限の中、何とか再開しました。イヤーエンドも、楽しく開催されました。皆様が、出来ることを精一杯やってくださっていると心から感じます。私も、会長、前会長をはじめ多くの方からサポートをいただき、感謝しております。会計という不慣れな役を、迷惑をかけないように、頑張りたいと思っています。今一番の願いは、一刻も早く前の日常を取り戻したいということです。皆、コロナなんかに負けないで！

事務局長　奥田　正博

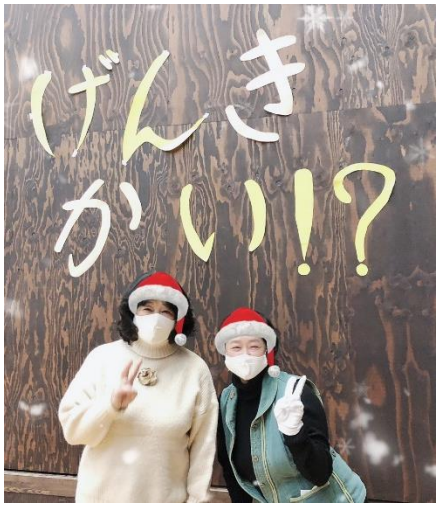
正にコロナに開けコロナで終わる年となりました。生活も一変し毎年行っていたことも出来ず、とても厳しい年でした。マイナス面を挙げたら切りがないのでプラス面を考えましょうか。それはこれまで気づかなかったことに気づかせられたということですね。一つにはオンラインという新しいツールを知り、使えるようになったことで新しい世界が広がりました。受講生との授業だけでなく仕事でも Zoom を使うようになりました。ユーザーとの会議、長崎にいる若手社員との勉強会や、イランにいるイラン人の友人とも Zoom で勉強会もできるなんてこれまで考えられない世界が広がりました。二つめはなんといってもやはり人々とのつながりの大切さに改めて気づかされましたね。会社の仕事にしてもサークル活動にしても、オンラインだけでは埋められない部分があるということ、何らかの人と人とのふれあいはどうしても必要ということ、改めて強く気づかされました。コロナ後にはさらに新しい豊かな世界を期待したいです。

会計監査　大西　美香

早春の輝かしい光りの場でご挨拶申し上げますことを感謝いたします。2021 年、春のきざしが日本でもたくさん見えてきますね。たとえば、街で見かける樹々を見てみると、かわいい花を咲かす準備をしている小さなつぼみや新しい葉をだす木の芽も見えますね。ああ～いいなあと、こころが淡いピンク色に染まる感じがします。朝、ベランダに立つと冷たい空気も、澄み切っていて癒されます。温かい部屋の中でお茶をいただいたり、スープを作ったりと、2020 年の冬からこの早春にかけても、幸せは、とても身近にありました。では、秋、夏はどうだったかな？これも幸せがいっぱいありました。（2020 年の春は、やはり緊張したことは覚えています。）立川は、新鮮な野菜を道で安く売ってくれるところが、たくさんあります。散歩に行き、その野菜を買うのが大好きです。こんな普通のことが幸せですよね!? “しあわせ”をたくさん確認できた 2020 年でしたが新年も同じく生きたいなと感じます。皆さまはいかがですか？またよろしくお願い致します。

2020 イヤーエンド　「げんき　かい！？」

新型コロナウイルス禍に追われた、2020 年の最後のイベントとして、例年開催のイヤーエンド・パーティーに代わって、「げんき　かい！？」の催しが、１２月１９日（土）に柴崎学習館で開催されました。冒頭、木下会長から「コロナ禍の為、オンライン授業と対面授業に別れてしまい、日頃の触れ合い、会話が出来ない中、各々、状況を伝えながらコミュニケーションを取り、気づきの機会を作り、エネルギーを与え合おう。」という挨拶があり始まりました。そして、TIFA の懐かしい OB、OG、休会会員の方々のビデオレターの紹介。企画部長指導による参加者のリラックス体操。また、休憩時間を利用して、2019 年度の諸活動をスライドショーで回顧。Zoom での参加者と学習館ホールに来ている参加者の、今年、①困ったこと②驚いたこと③楽しかったことの紹介。最後に、木曜教室部長から「南砂小学校との交流会がコロナ禍のため中止になった。オンライン授業で CD を有効活用している。」等の報告。土曜教室部長からは「来年２月～３月に、ふるさと自慢をテーマにスピーチ大会を行いたい。」等の活動状況の報告があり、最後は「１年間お世話になりました。どうぞ良いお年をお迎えください。」と、お互いに挨拶を行い、初めての試みの催しは無事終了しました。学習館ホールでの参加者は３０名（受講生７名）、Zoom での参加者は９名（受講生４名）で合計３９名が参加しました。



えんがわサロン

１１月２７日、１２月１８日（１２月は第３金曜日)、柴崎会館にて「えんがわサロン」が開催されました。参加者はいずれも木曜教室ボランティア２名、台湾出身の木曜教室受講生１名でした。

コロナ禍にもかかわらず３人が集い、ソーシャルディスタンスを取りながら飲食なしで会話を楽しみ、あっという間に時間が過ぎました。再び、緊急事態宣言が発令され日本語教室も休講になったことを受けて、１月、２月のサロンは中止になりました。３月以降は様子を見てからという状況です。速やかな収束を願うばかりです。

運営委員会・小委員会

１月２３日の第４回運営委員会は緊急事態宣言下により中止になりました。予定されていた議題として年末開催された「げんきかい」の報告（企画渉外部長)、ボランティア保険について（小委員会)、各部報告、えんがわサロンなどがありました。中でも、小委員会からの、ボランティア保険については、「会則第１３条（会費)」の改正を提案する協議事項であることから、委員会の代わりにメールで、添付ファイルによる提案資料をもとに運営委員それぞれが意見を述べました。会則第１３条の改正案は、会員のために、会として出来るだけのことをさせていただこうという提案のもと、運営委員会としては可決されました。詳細は議事録でご確認ください。

今年度、「小委員会」という会則の改正を目的とした委員会が結成されました。事務局長の奥田さんを委員長に牛島さん、柏田さん、磯崎さん、赤嶺さん、的場さんで構成された委員会です。このような委員会は、会の、より良い構築のため、有志からなる委員会で、必ず運営委員会の承認が必要になります。今回は会則の改正がテーマですが、過去には IT 化を目的とした「IT 委員会」がありました。

日本語能力試験１級合格

木曜教室受講生の黒川ラッダワーンさん（タイ出身）が、日本語能力試験１級に合格したと担当ボランティアの齋藤さんから報告がありました。合格おめでとうございます。

編集後記にかえて

広報部長　野口節子

今回も原稿等ご協力いただきまして感謝いたします。１４５号から３回にわたってしまいましたが、新役員の紹介（写真は任意）が終わってほっとしています。私の写真は 1994 年春、初めて TIFA を訪れた懐かしい場所で撮ってきました。「未来への窓―夢」、ここでこの文字を見ると心が晴れやかになります。2020 年度は教室の休講が多く、来年度もすぐにもとにもどるとは思えませんが、今まで大勢の方々によってつながれてきた活動を大切に、そして現在、休会や Zoom による授業で、教室で会えない会員や受講生の皆様をつなぐような会報を心がけたいと思っています。